

経ヶ岬通信所だより

No. 2



日米交流音楽会



近畿中部防衛局広報誌
2018

地域の皆様との連絡会を開催しました！

○第13回・第14回安全・安心対策連絡会

（平成29年 8月29日、11月21日）

前号（平成29年7月）の発行以降、第13回、第14回安全・安心対策連絡会を開催しました。

第13回、第14回の連絡会においては、発電機からの騒音を抜本的に解決するための商用電力の導入については、米側の手続きが順調に進んでおり、本年7月の導入見込みに変わりはないことや、今後とも日米で連携して、1日も早い商用電力の導入に向けて全力で取り組んでいることを説明しました。

また、米陸軍経ヶ岬通信所の2期工事として、隊舎などの生活関連施設の建設工事を行うことを説明いたしました。地域の皆様からは、工事の安全対策などについてご意見がありましたので、今般、米側が行う安全対策などについてご紹介します。

【2期工事の安全対策など】

- ① 作業時間は、原則として、月曜日から金曜日の午前8時から午後5時までとします。
- ② 宇川小学校の通学時間帯（概ね午前7時半から8時半まで）は大型工事車両の通行を見合わせるよう配慮します。
- ③ 大型工事車両の通行台数が多い日は、宇川小学校付近の急カーブに交通誘導員を配置します。
- ④ 安全管理等のため、工事現場を囲む仮囲いを設置します。
- ⑤ 景観への配慮のため、建物の高さは13m以下、配色は緑色になります。



※1 現時点での計画です。

※2 点線囲いは、米側が予算を確保した後、施設整備を実施する可能性のある場所を示したものです。

当局は、引き続き、商用電力の導入や米陸軍経ヶ岬通信所の2期工事の状況について、本連絡会を通じて地域の皆様のご理解とご協力を頂けますよう説明してまいります。



開催状況



近畿中部防衛局からの説明



経ヶ岬通信所からの説明

引き続き地域の交通安全に取り組んでいます！

○第13回交通安全講習会

(平成29年 12月5日、12月13日)

当局と京丹後警察署は、昨年12月5日、13日の2日間、米陸軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象に冬季の交通安全講習会を開催しました。

今回の交通安全講習会では、スリップマットを使用した雪道における運転の注意点の確認や、スタッドレスタイヤの適切な使用に関する講義を実施しました。さらに、後日、京丹後警察署が米陸軍経ヶ岬通信所の米軍関係者の車両について、スタッドレスタイヤの装着を確認し、適切な使用について指導しました。

当局は、今後とも、交通事故の未然防止に向けた、交通安全講習会を開催してまいります。



急ブレーキの実車講習



坂道発進の実車講習



座学講習



スタッドレスタイヤの講習

米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ



米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には、日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることができます。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整を行うなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたらどのようなことでも結構ですので、以下の連絡先にご相談ください。

連絡先： 近畿中部防衛局管理部業務課
06-6945-4964 / 06-6945-5381 (夜間及び休日)



👉 日米でさまざまな交流を行っています！



ボガート大尉からのご挨拶

私は第 14 ミサイル防衛中隊の新中隊長ポール・ボガート大尉です。第 14 ミサイル防衛中隊経ヶ岬通信所からご挨拶申し上げます。私はインディアナ州インディアナポリス市の第 157 歩兵旅団本部及び本部中隊で中隊長の任務を一年半勤め終え、着任いたしました。インディアナ州キャンプ・アタベリーの任務では陸軍兵、州兵、陸軍予備役部隊、また、地域の警察機関を含めた様々な組織と共に地域社会を効果的に支援し、地域防衛の協力体制を築き、発展させてまいりました。これからも京丹後市の様々な機関と友好関係を発展させ、自衛隊との協力関係を継続し、地域社会との関係も更に深化させていくことを楽しみにしています。



世界で最も美しい場所の一つであるこの地域に皆様が温かく私を迎え入れて頂いたことに感謝申し上げます。ここ日本にて任務に就けますことを光栄に感じております。

○米側によるボランティア活動

昨年 9 月、台風 18 号が京丹後市を直撃し、町に大きな被害をもたらしました。

米陸軍経ヶ岬通信所の軍人等は、被害を受けた家屋から泥をかき出す作業や、壊れた家具を運び出す作業を支援しました。このボランティア活動は、地域の人々に大変歓迎され、復旧に貢献しました。



泥掃除のお手伝い



家具、畳の運び出し



○米側による地域の皆様との交流

米側は地域の皆様の「良き隣人」となるため、文化活動などを通じ、さまざまな交流を積極的に行っています。

米側が、京丹後市などのご協力をいただいた上で行っている交流の一部をご紹介します。



ハロウィンイベント
(平成29年10月28日)



英会話教室
(月1回を基準に継続して開催)

○日米交流事業

昨年度に引き続き今年度（29年8月25日）も、京都府丹後文化会館において「日米交流音楽会」を開催しました。米側から在日米陸軍軍楽隊及び米陸軍経ヶ岬通信所、地元から丹後吹奏楽団や日本木琴協会丹後支部マリンバアンサンブルに出演していただきました。当日は地元の方々約600名が来場され、「昨年続き2回目の観覧でしたが、とても感激しました。」などの感想をいただきました。



丹後吹奏楽団の演奏



マリンバアンサンブルの演奏



在日米陸軍軍楽隊の演奏



日米共同演奏

👉 防衛省の補助金等がまちづくりを支援しています！

防衛省では、防衛施設と周辺地域との調和を図るため、京丹後市が行うまちづくりに協力しています。

本稿では、京丹後市に交付している再編交付金や補助金を活用して実施された事業の一部についてご紹介します。

袖志区

【水路改修事業】

出典：国土地理院（地理院地図（電子国土 Web））



—— が整備が完了した水路です。

整備前



整備後



尾和区

【有害鳥獣防除施設設置事業】

出典：国土地理院（地理院地図（電子国土 Web））



—— が現在、整備中の施設です。

整備前



整備後（イメージ）



消防力の強化

【京丹後市消防ヘリポート整備事業】

⇒緊急を要する患者の転院搬送や、災害発生時の救助・物資搬送に対応するために整備

出典：国土地理院（地理院地図（電子国土 Web））



（場所：京丹後市弥栄町の旧溝谷小学校グラウンド）

転院先となる京都市内の病院まで搬送

◎京丹後市消防ヘリポートから京都市内までの移動時間は約 30 分です。

（陸路の約 1 / 3 の時間で移動可能）

◎運用開始（平成 29 年 9 月 29 日）以降、昨年末まで 4 件の使用実績があります。

消防ヘリの夜間離発着訓練



◎航空用灯火を整備したため、年間を通して夜間の離発着が可能となっています。



空 自 便 い

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地（第35警戒隊）

（司令からのご挨拶）

（こばやしけんご）



第35警戒隊長 兼
経ヶ岬分屯基地司令
2等空佐 小林賢吾

平成29年8月から経ヶ岬分屯基地司令を拝命しております小林賢吾と申します。

当分屯基地は、京都府における唯一の航空自衛隊部隊として、航空警戒及び管制に関する任務を主に行っております。

特に、昨今、国民の皆様の不安要素の一つとなっております「弾道ミサイルへの対応」に係る任務におきましても、隊員一人一人が高い士気のもと、専心職務にあたっております。さて、当分屯基地は約150名の隊員が警戒監視、通信電子、基地機能の維持といった3つの分野の業務を行っており、24時間昼夜を問わず勤務しております。また、隣接する米陸軍経ヶ岬通信所に勤務する軍関係者とは「防空任務」という同じ目的を共有する仲間として、お互い切磋琢磨しながら、精強な部隊及び健全な隊員の育成に日々努力しております。さらに、当分屯基地においては、大規模な庁舎改修等の施設工事事業を行ってきたところ、今年度末に完了の見込みとなっており、その後、平成30年秋頃を目処に「分屯基地開庁記念行事」を計画しております。

このように、我々が後顧の憂いなく任務に邁進できますのも、平素の基地周辺の皆様の深いご理解、ご支援が礎（いしづえ）となっていることは自明であると考えております。

今後とも、隊員一同、本来任務のみならず、公私にわたり、あらゆる分野で地域への貢献を追求していく所存ですので、ご指導等よろしくお願い致します。



尾和地区から見る経ヶ岬分屯基地
（新設された隊庁舎とOHアンテナ）



隊庁舎



OHアンテナ

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2018年 経ヶ岬通信所だより（通算第51号）

平成30年2月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953
URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

ご意見・ご感想等

本誌についての皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

（住所）
〒540-0008
大阪府中央区大手前4丁目1-67
近畿中部防衛局
広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）
TEL 06-6945-4953
FAX 06-6910-5669
（メールアドレス）
goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp